

10 事前・事後指導の概要

(1) 事前指導 (4月～8月)

ア 国際貢献に関する事前研修

目的：日本国の国際協力の現状を理解するとともに、日本国民としてより良い国際貢献のあり方を考察し、本校の目指す学校像にある「社会に貢献する聡明な女性を育てる」ための一助とする。

訪問先：① 独立行政法人国際協力機構 (JICA)

広尾センター (JICA 地球ひろば)

東京都渋谷区広尾 4-2-24 TEL:03-3400-7717 (代表)

② 国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所

東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 7 階

国連人口基金東京事務所 (03) 5467-1212

特に体験型展示施設「JICA 地球ひろば」への訪問では、世界が直面する課題等について理解を深める。

イ 調べ学習

目的：アの事前研修で国際協力について学んだ事柄をさらに深め、国際人としての自覚と責任を醸成する。

内容：それぞれの生徒が、国際協力を行っている団体 (NPO) や、海外で展開されている国際協力事業についてグループで調べ、レポートにまとめる。グループごとに発表し合い、理解を深める。

(調べ学習の進捗状況発表 1回 本発表 1回)

ウ 研修講座

目的：オーストラリアについての知識を深める。また、ダイバーシティ教育について研修し、国際協力の素養を身につける。

内容：① 英語研修 5回程度

② オーストラリアの地理、歴史、社会、文化等について 2回

③ オーストラリアのダイバーシティ教育について 2回

エ プレゼンテーション指導

目的：これからの国際社会に生きる日本人として、日本の文化等を積極的に発信するとともに、国際人としてのコミュニケーション能力の育成に資する。

内容：現地の学校で日本への関心と理解を深めるため、日本の文化等についてプレゼンテーションを行う。また、折り紙等の体験を一緒に行うなどのコミュニケーション活動を通して、異文化理解の態度を養う。

事前指導・準備 3～4回

模擬プレゼン指導 1回

① 日本文化の紹介－華道、茶道、琴曲、書道、折り紙

② 日本武道の紹介－空手道、剣道

(2) 事後指導

ア 体験報告会（全校集会）

- ・代表生徒によるオーストラリア海外研修報告。
- ・事前指導のイで設定したテーマについて、各グループからの発表。
- ・事前指導のエで準備し、現地でプレゼンした内容を、各グループで発表。

イ 研修報告書の作成

冊子タイプの研修報告書の他、「高校生体験活動総合推進事業」についてのすべての資料を、iBook Author を活用し、電子書籍化して公開する。

ウ 国際貢献に向けた指導

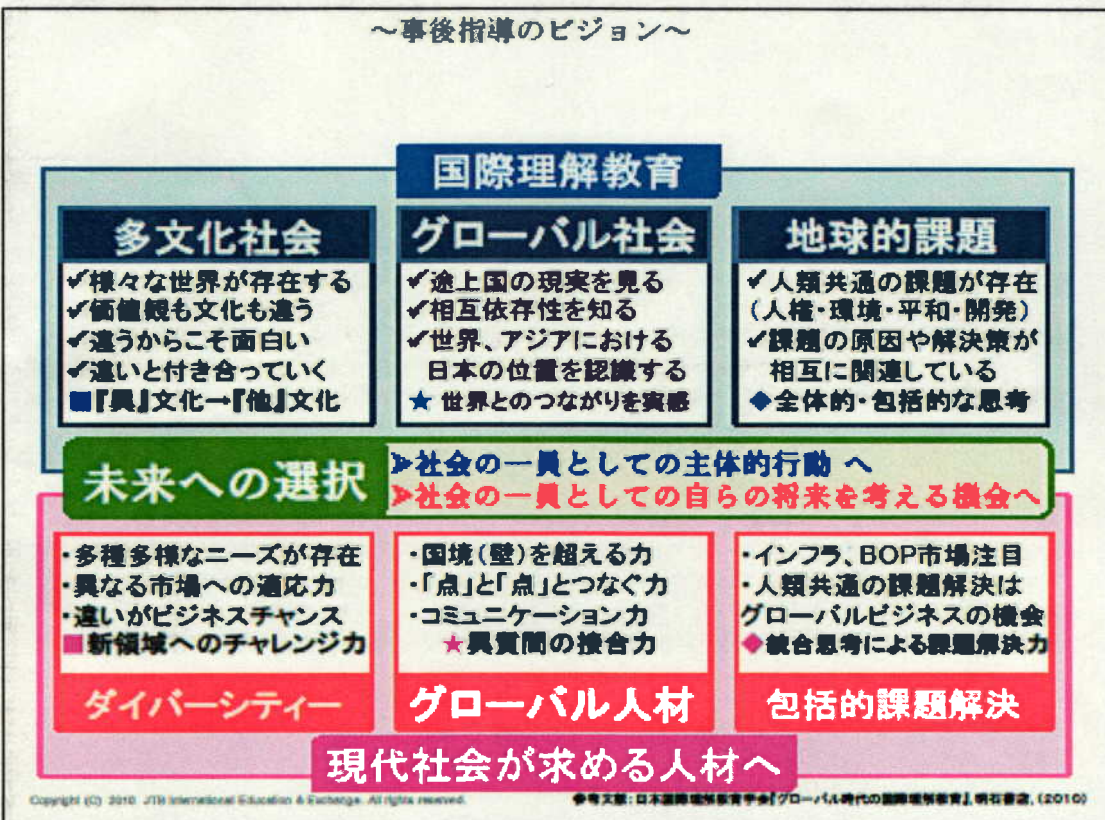
① JICA 国際協力出前講座
開発途上国の様子や国際協力事業に関するセミナーを学校で開催する。

② エッセイコンテスト
国際協力をテーマとしたエッセイコンテストに参加する。

③ 国内外の JICA 事業現場を訪問し、国際貢献に奮闘する日本人の活動を視察するとともに、国際協力の重要性について理解を深める。

④ JTB が JICA と行っている、医療や教育その他の分野の現地体験プログラムを利用し、国際協力に興味がある生徒に参加させる。

～事後指導のビジョン～



Copyright (C) 2010 JTB International Education & Exchange. All rights reserved.

参考文庫：日本国際理解教育学会『グローバル時代の国際理解教育』明石書店、(2010)